

シュプリンガー・プロトコル

よくある質問 (FAQ)

Q1. シュプリンガー・プロトコルとは？

シュプリンガー・プロトコルは、シュプリンガー・グループに属するヒューマナ・プレス社(Humana Press)が過去 25 年間にわたって刊行した、定評あるブックシリーズ: Methods in Molecular Biology や Methods in Molecular Medicineなどをオンライン・データベースにしたものです。

Q2. プロトコルとは具体的にどのようなものですか？

料理で言う、いわゆるレシピです。

プロトコルとは、制御された実験環境において行われる、標準方式で構成された段階的な実験工程を示した「レシピ(処方箋)」です。

主としてライフサイエンスの研究に使用され、科学者が研究室で実験を再現するための特定のアプローチを提示します。

具体的には、実験を行うに当たって基準となる安全性、バイアス、工程、装置、統計手法、報告、トラブルシューティングなどを記載しており、実験を設計・実施するためのあらかじめ定められた工程メソッドを示す文書です。

Q3. シュプリンガー・プロトコルはどのような分野をカバーしていますか？

シュプリンガー・プロトコルには次の 15 分野のコレクションがあります。

- ・生化学 (Biochemistry)
- ・バイオインフォマティクス(生物情報学) (Bioinformatics)
- ・バイオテクノロジー (Biotechnology)
- ・癌研究 (Cancer Research)
- ・細胞生物学 (Cell Biology)
- ・遺伝学/ゲノミクス (Genetics/Genomics)
- ・イメージング/放射線学 (Imaging/Radiology)
- ・免疫学 (Immunology)
- ・伝染病 (Infectious Diseases)
- ・微生物学 (Microbiology)
- ・分子医学 (Molecular Medicine)
- ・神経科学 (Neuroscience)
- ・薬学/毒物学 (Pharmacology/Toxicology)
- ・植物学 (Plant Sciences)
- ・蛋白質学 (Protein Science)

Q4. シュプリンガー・プロトコルにはどれくらいの数のプロトコルが収録されていますか？ また更新頻度は？

現在、シュプリンガー・プロトコルにはおよそ 19,000 のプロトコルが収録されており、毎年 2,000 のプロトコルが新たに追加されます。書籍の巻数にするとおよそ 100 タイトルです。

更新頻度は、継続的に随時追加されます。

Q5. シュプリンガー・プロトコルに収録された各プロトコルはどんな頻度で更新されますか？

各プロトコルの策定・修正・進展の状況に応じて更新されます。ナノテクノロジーのように変化が急速に進む分野については頻りに更新されますが、一般に平均して 2-3 年に 1 回程度アップデートされます。

Q6. シュプリングー・プロトコルはどのように策定されるのですか？

生物医学やライフサイエンスの現在の研究環境を勘案して、ジョン・ウォーカー(John Walker)博士と編集委員会のメンバーがシュプリングー・プロトコルのテーマを決めます。

シュプリングー・プロトコルとしてできる限り包括的に掲載することができるよう、シュプリングー・プロトコルのタイトルは、現在行われている研究ばかりではなく、有効性が証明された伝統的な科学的メソッドや新興の研究分野も対象として取り上げます。

ウォーカー博士と編集委員会がテーマを決める際には、まず、研究分野の著名な専門家が研究者にとって重要なプロトコルを包括的かつ横断的に収集することからはじめます。

その後、ピアレビューを経て、質の高いコンテンツのみが出版されます。

Q7. シュプリングー・プロトコルはどこで提供されていますか？

シュプリングー・プロトコルのコンテンツはすべて、シュプリングー・プロトコルのサイト (springerprotocols.com) と、シュプリングーのオンライン・プラットフォームであるシュプリングーリンク (springerlink.com) 両方に搭載されています。

Q8. シュプリングー・プロトコルのサイト(springerprotocols.com)で閲覧する場合と、シュプリングーリンク (springerlink.com)で閲覧する場合では、どのような違いがあるのですか？**■ シュプリングーリンク経由のアクセス**

シュプリングーリンクでアクセスすることで、図書館が所有するシュプリングーの全コンテンツを 1カ所で集中管理できます。

また、シュプリングーリンク上で提供されるプロトコルならば、同じプラットフォーム上で提供されるシュプリングーの全コンテンツ(電子ジャーナル、電子ブック、電子レファレンス・ブックス、電子アーカイブ)を網羅して検索を行うことができます。

■ シュプリングー・プロトコルのサイト経由のアクセス

springerprotocol.com は、バイオテクノロジーやライフサイエンスの研究者が特に必要とするコンテンツの独立形データベースです。また、プロトコルのアップロードや、コメント投稿など、ウェブ 2.0 の機能を提供したインタラクティブなデータベースです。

詳細は、シュプリングー・プロトコルのパンフレットにあるプラットフォーム別機能比較表をご覧ください。

Q9. シュプリングー・プロトコルを閲覧するためには、特別なソフトウェアが必要ですか？

インターネット・ブラウザと Adobe Reader が搭載されていれば、シュプリングー・プロトコルにアクセスできます。

Q10. シュプリングー・プロトコルはどのフォーマットで閲覧できますか？

プロトコルはすべて PDF または html のフォーマットで閲覧できます。

Q11. シュプリングー・プロトコルのコンテンツを印刷または保存できますか？

できます。シュプリングー・プロトコルは PDF をダウンロードして、印刷・保存ができます。

Q12. シュプリングー・プロトコルはフルテキストが検索・閲覧できますか？

できます。シュプリングー・プロトコルの検索エンジンはフルテキストの検索に対応しています。

Q13. シュプリングー・プロトコルにはカスタマイズ機能がありますか？

あります。登録ユーザーは、検索結果の保存、コメントの掲載、プロトコルのアップロードができ、My Protocols にお気に入りのプロトコルを保存できます。

Q14. シュプリングー・プロトコルは同時アクセスが可能ですか？

可能です。同時アクセス数に制限はありません。

Q15. シュプリングー・プロトコルはリモート・アクセスで使用できますか？

できます。シュプリングー・プロトコルのサイトをご利用になる場合は、ユーザー登録をすることにより可能です。SpringerLink をご利用になる場合は、設定することによりリモート・アクセスが可能になります。

Q16. 契約終了後、いつまでアクセス権が供与されるのでしょうか？

オンライン・アクセス権は契約期間中のみ有効です。契約終了後は、アクセスは切断されます。フルコレクションをご購読の場合のみ、契約終了後のアーカイブ権取得を選ぶことができます。

Q17. ペイ・パー・ビューは可能ですか？

SpringerLink 上で利用が可能です。

Q18. 利用統計を入手できますか？

閲覧できます。利用統計は COUNTER(Counting Online Usage of Networked Electronic Resources)¹ に準拠しています。シュプリングー・プロトコルの利用統計は、電子ブックや電子ジャーナルと同様に、例えば、タイトル別、月別にフルテキスト・ダウンロードの数が入手できます。

Q19. シュプリングー・プロトコル・コレクションにはどのような購読モデルがありますか？

シュプリングー・プロトコルを購読するには幾つかのオプションがあります。

- 全コレクションを購読： シュプリングーリンク(springerlink.com)またはシュプリングー・プロトコルのサイト(springerprotocols.com)のいずれかのプラットフォームを通してプロトコルの全コレクションを購読できます。契約終了後のアーカイブ権を取得することも出来ます。
- 分野別コレクションを購読： シュプリングー・プロトコルのサイト(springerprotocols.com)を通して購読できます。

詳細は、シュプリングー・ジャパンまでお問い合わせ下さい。

Q20. シュプリングー・プロトコルの価格は？

シュプリングー・プロトコルの価格は、機関のサイズに応じて、以下の 5 段階に設定されます。

Very Large > Large > Medium > Small > Very Small

お見積りや具体的な提案内容など、詳細はシュプリングー・ジャパンまでお問い合わせ下さい。

Q21. シュプリングー・プロトコルは英語以外の言語で閲覧できますか？

SpringerLink のインターフェイスは日本語に対応しています。

シュプリングー・ジャパン株式会社 マーケティング部
〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-11-11 第 2 フナトビル
TEL: 03-6831-7003/ FAX: 03-6831-7006
e-mail: ebooks@springer.jp
ホームページ: www.springer.jp